

# 茄子苗を移植

石割フランス農園



石割京大農園  
Ishiwari Kyoto-univ. Farm



もぎ茄子，ミニトンネルで加温しながら育ててきた苗を圃場に出すと，光を浴びて淡い緑の葉に茄子の紫色が満ちるように掛かっていきます。新葉はまだ水を弾くことができず，雨滴が大きな雫になって溜まっています。こちらでは気温が低く苗作りに苦労しています。苗作りとは生育にスタートダッシュをかけるため，予め温室などで苗を大きくしておくこと。まともな温室がないので担当者が加温装置や水遣りに苦労しながら苗を作っています。一方、寒さに強いエンドウは昨秋播いた日本産”仏國大莢”種子がノルマンジーで開花し始めました。土壌がアルカリ性なので(?)見たこともないくらい鮮やかな赤花です。寒い5月5日でも立夏，やはり二十四節気は日本の風土で育まれたもの，と思いきや，こちらでも蛙が鳴き始めました。

